

事務事業名		上村スクールバス運行事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		学校教育課			事業種別	経常	開始	17	終了	
H27係等名		学校教育課			H27係等名	学務係			H26係等名	学務係
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり						
		施策	22	義務教育の充実						
目的	対象(誰・何を)	上村・南信濃地区において、学校まで遠距離のため徒歩による自力通学が困難な児童生徒				対象指標	指標名及び単位			26年度数値
	意図(どうい状態にするか)	スクールバスを利用することにより自力で通学する					上村・南信濃地区において、学校まで遠距離のため徒歩による自力通学が困難な児童生徒数			
	向上させたい上位施策の成果指標	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合								
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	遠距離のため徒歩により自力通学が困難な児童生徒について、スクールバスを利用することにより自力で通学できるようになった児童生徒の割合				100	100	100	100	
	定性目標									
事業概要	上村・南信濃地区内で、学校まで遠距離のため徒歩による自力通学が困難な児童生徒に対し、通学に利用するためのスクールバスを運行する。									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 上村小・遠山中学校スクールバス 程野線、下栗線、遠山線の3路線を運行(各線朝2便・夕方2便)				1 運行便数			1 2,080便		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		9,575	9,188	8,765	9,188					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		9,575	9,188	8,765	9,188					
人件費計(千円)②		172		172						
正規職員所要時間		48		48						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		9,747	9,188	8,937	9,188					
事業内容・目標達成状況の振り返り	上村・南信濃地区の自力通学が困難な児童生徒にとってスクールバスは重要な交通手段となっている。									
改革改善の考え方	①問題点	児童生徒数の減少に伴う利用者の減少。 スクールバスの老朽化による維持費の増加。								
	②改革提案	スクールバスの更新、小型化。 公共交通との連携によるスクールバスの運行の検討。								